

【公安委員会】

- 1 警察官は社会の治安確保の任務を持つと同時に、一個人としてゆとりある生活を送る権利がある。働き方改革と言われて久しいが、各警察官の精神的疲弊による精神・健康被害を防止するためにも、徹底した働き方改革を実行すること。

(回答)

警察本部では、本年の業務重点の一つに「県民本意の活力ある警察組織の構築」を掲げ、働き方改革の推進に取り組んでいる。

具体的な例を挙げると、業務の合理化・効率化の推進として、オンラインで行う部内会議や研修を更に効果的に行えるよう、大型モニターを各警察署等に整備したほか、文書管理のシステム化等のデジタル化を推進してきたところ。

また、「働き方改革アクションプラン」を策定し、ワークライフバランスの実現に向けて、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進にも取り組んでいる。

今後も、全ての職員にとって働きやすい職場環境の構築に配慮しながら、実効性のある取組を推進していきたい。

- 2 最近女性警察官の任用も増えてきており、ジェンダー平等に則した教育と実践を行うこと。

(回答)

大分県警察では、「大分県女性職員活躍推進計画」において、令和7年度までに女性警察官の割合を12%、警部、課長補佐級以上の女性職員の割合を8.7%とする目標を定め、採用及び任用の拡大を進めている。

教育については、警察学校における採用時から、あらゆる機会において全般的な人権教育を行っており、また、性別に関わらず平等に教育を行っているところである。

人事配置については、平成25年春の定期異動以降、県下15警察署全てに女性警察官を配置している。警察本部においても、本年4月1日時点で31所属中18所属に女性警察官を配置し、その職域拡大を進めているところであり、九州管区機動隊などの一部の職種を除き、女性警察官は全ての所属に配置可能と考え、ジェンダー平等に配慮した人事措置を行っているところである。

【各地域からの要望】

(中津市)

- 1 県道万田四日市線大貞交差点に右折信号をつけて渋滞を解消すること。



(回答)

朝夕の時間帯に現地調査を行った結果、全方向とも一時的に交通量が増加し車両が滞留したものの、右折車両がレーンをはみ出して直進車両を阻害する状況はなかった。

要望の交差点は、令和2年度に歩車分離式信号機を導入し、信号の秒数調整を行っている。

右折矢印信号を設置すれば、1時間当たりにおける直進車両の青信号時間を減らすこととなり、結果として直進車両の更なる渋滞が懸念されることから、現時点、右折矢印信号の設置は予定していない。

2 センターライン（本耶馬溪支所下の国道212号（黄色））、耶馬溪町山移診療所前の横断歩道表示が消えかかっており整備すること。（土木建築部→公安委員会にて回答）

(回答)

センターライン（本耶馬溪支所下の国道212号）及び耶馬溪町山移診療所前の横断歩道標示については、現地の状況や事業箇所の緊急度等を勘案し、順次対応する予定。

(佐伯市)

1 国道10号線 佐伯市弥生・元田交差点への信号機の移設を行うこと。

（地区からの要望もあり、佐伯市長へ要望書の提出を予定しています。以下佐伯市長あての要望書を参考までに添付します。）

佐伯市長 田中利明様

国道10号線弥生・元田交差点への信号機設置の要望書

大坂本5区 区長

田中市長におかれましては、日夜市民のために力を尽くされておりますことに敬意を表します。また、当区元田公民館の建設にあたりましては、多大なご尽力とご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

ところで、現在元田公民館を利用する際には、元田本集落から国道10号線を渡る必要があります。最短距離で渡る場合、道幅も広く、信号機も横断歩道も設置されていない箇所を渡るため、交通事故の危険があり区として困惑しているところであります。佐伯寄り100mほどに押しボタン信号機が設置されていますが、迂回するには遠く、多くの高齢者が危険を顧みず横断しているのが実情です。

そこで、現在設置している信号機は撤去していただき、新たに国道10号線と市道ケゴヤ元田線との交差点に信号機並びに横断歩道を設置していただきたいと考えます。佐伯市として至急調査の上、国土交通省並びに県公安委員会に要望していただくようお願い申し上げます。

尚、本交差点付近は明治小学校の通学路として利用していますが、現信号機を利用することもなく、設置場所がカーブのため、かえって危険であることから、新たな信号機及び横断歩道の設置に対し、学校側の了解を得ていることを申し添えます。

記

1. 国道10号線元田地区にある押しボタン信号機を撤去して、市道ケゴヤ元田線との交差点に新たに信号機及び横断歩道を設置してください。

写真1 元田地区公民館前から佐伯方面（前方に既存の信号機）



写真2 元田地区公民館前から大分方面（信号機及び横断歩道設置要望箇所）
左は市道ケゴヤ元田線



グーグルアース



（回答）

現地調査の結果、移設要望箇所の道路形状はカーブしており、視認性に問題がある。

信号機を設置した場合、上下線ともドライバーからの視認性が確保できず、停車時に停止線を越える又は追突するなど交通事故を誘発しかねないことから、信号機及び横断歩道の移設は困難である。

- 2 国道10号線 佐伯市弥生・井崎地区植松橋への信号機の設置について、国道10号線佐伯市弥生大字大坂本にある植松交差点（信号機設置済）から宮崎方面に向かい、植松橋を渡った交差点（市道豊寿苑線及び市道木の瀬元田線の起点）に横断歩道があるが、ここに信号機の設置をすること。（地図別添）



尚、警察庁の信号機の設置基準（隣接信号機との距離150m以上等）に合わず設置が困難な場合は、植松交差点との連動信号機の設置、または歩行者の安全と市道から国道10号線への安全な合流が図られるような措置を講じること。

（回答）

現地調査の結果、植松交差点と比較して、交差する車両及び横断歩行者の交通量は少ない。

なお、脇道側の道路幅員が狭く、信号柱の設置場所や停車車両の離合スペースが確保できないことから、信号機の設置は困難である。

信号機を設置しない場合の対策として、一方通行や右左折禁止等の交通規制による措置も考えられるが、地域住民の理解が必要である。

（別府市）

- 1 西別府病院下交差点は荘園町6-3方向から鉄輪方向に右折する車が右折しにくいために渋滞が発生する。信号を右折ができるように時差式に変更すること。



（回答）

時差式信号は、上下路線の交通量が大きく異なる場合に、交通量の少ない路線側の青信号を短くして全体の交通を円滑にするものである。

時差式信号を設置する場合、交差点の形状がT字路であること又は青信号を短縮する側を終日右折禁止規制にすることが条件となる。

要望の交差点は、青信号を短縮する側に右折車線があり、右折車両が交差点内に取り残されるおそれがあることから、現時点、設置は困難である。

（日田市）

- 1 通学路の交差点に横断歩道を設置し、児童の通学の安全を図ること(若宮小学校区内)。
(土木建築部→公安委員会にて回答)

**通学路の交差点に横断歩道の設置要望
日田市若宮町(若宮小学校校区)**



(回答)

通学時間帯の午前7時30分から午前8時30分の間に調査を行ったところ、通過車両は約244台で、交差点付近を通行する歩行者は23人おり、そのうち児童は3人であった。

現地には、公安委員会の一時停止規制や、道路管理者のカーブミラー(3方向)・警戒標識(十形道路交差あり)・交差点マーク・路側帯・カードレールを設置して安全対策を講じており、過去3年間の人身交通事故の発生もないことから、現時点横断歩道を設置する計画はない。